

令和6年2月26日 (令和5年(2023年)度第56号)

全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
<http://www.z-hoikushikai.com>

ホームページで、こども家庭庁による
「こども誰でも通園制度(仮称)」説明会 動画を公開中!

<ニュースの内容>

- 令和5年度 第2回委員総会を開催
～令和6年度事業計画、予算を決定～
- 令和5年度 都道府県・指定都市正副会長セミナーを開催

■ 令和5年度 第2回委員総会を開催 ～令和6年度事業計画、予算を決定～

令和6年2月15日、令和5年度第2回委員総会を全社協議室で開催しました。

総会では、全国保育士会 村松 幹子 会長、全国社会福祉協議会 金井 正人 常務理事、こども家庭庁成育局 本後 健 保育政策課長のあいさつの後、令和6年能登半島地震発災後の状況について、中田美千世委員（石川県）から報告がありました（被災地における石川県保育士会による支援活動は、「保育士会だより 319号」(令和6年3月発行)の裏表紙ページでもご報告しています)。

震災に関する報告の後、令和5年度事業進捗状況および決算見込みについて報告を行いました。報告に引き続き、令和6年度事業計画案および予算案、また、全国保育士会会則の一部改正について審議を行い、全会一致で原案どおり承認されました。

令和6年度は、改正児童福祉法の施行や「こども誰でも通園制度」の本格実施に向けた試行的事業が行われる等、地域の子ども・子育て家庭への支援の強化が図られることとなっており、保育所・認定こども園の役割や保育士・保育教諭の専門性に対して大きな期待が寄せられています。本会の令和6年度事業計画では、こうした動向も踏まえながら「子どもの最善の利益」の保障を大前提とした取り組みや、保育士会組織の強化に関する検討と対応を進めていくこととしています。



村松会長あいさつ



中田委員による報告



倫理綱領・食育推進ビジョンの唱和

令和6年度 全国保育士会 事業計画(抜粋)

～子どもの^{いま}現在と^{あす}未来を支える保育の実現～

【保育士会事業の大きな柱】

1. 子どもが豊かに育つ質の高い保育の実現
2. 専門性の発揮できる環境構築
3. 乳幼児教育への理解促進
4. スカンポ募金による保育士等支援

【重点事業の概要】

1. 社会の変化に対応した保育内容の実践

2. 地域支援事業に向けた取り組み

- 「社会の変化に対応した保育内容の実践」：わが国では、少子高齢化の急速な進展による人口減少や、核家族化や就業形態の変化等により、保育を取り巻く環境も大きく変化している。このような状況においても「子どもの最善の利益」を保障し続けるために、子どもの育ちに最適な保育内容に必要な要素等を整理した「中間のとりまとめ」(令和5年3月)の内容も踏まえながら、特別委員会において「地域支援事業に向けた取り組み」と一体的にさらなる検討・整理を進める。
- 「地域支援事業に向けた取り組み」：こども大綱や改正児童福祉法(令和6年4月施行)等においては、「妊娠期からの切れ目のない支援」や「地域の子ども・子育て家庭支援」等の充実を進めることとしている。保育所・認定こども園等においても、地域の子ども・子育て家庭支援において発揮することのできる役割や課題等を検討すべく実施した調査結果も踏まえながら、特別委員会において「社会の変化に対応した保育内容の実践」と一体的にさらなる検討・整理を進める。
- 「社会の変化に対応した保育内容の実践」や「地域支援事業に向けた取り組み」における検討内容を達成するためには、主任保育士・主幹保育教諭の役割が重要となる。そのため、主任保育士・主幹保育教諭が担う現状の役割等を把握するとともに、今後真に担うべきと考えられる役割やその発揮に向けて必要な要素等の検討・整理を行う。
- 地域支援の取り組みをより効果的に進めるにあたり、保育士・保育教諭等に必要なソーシャルワークの基礎的な知識・技術等について検討・整理を行う。

3. 保育士会組織の強化と支援体制の強化

- ブロック保育士会会長会議や本会会議等において挙げられる意見を踏まえ、各県・市組織の課題対応や強化のための取り組みを検討・実施し、全国保育士会の組織力の強化につなげる。

- 各ブロックや各県・市組織の状況も踏まえながら、本会の役割や事業内容の振り返りと整理を行うとともに、今後の展開に向けて整備が必要な事項等を検討する。

4. 保育の専門性の発信

- 保育の専門性や保育の魅力、やりがい、保育士・保育教諭等の仕事について、「#すかんぽムービー」やSNSの活用等により広く社会へ発信・周知を行い、正しい理解や新規会員加入の促進につなげる。
- 保育所保育指針に基づき保育士・保育教諭等が発揮している専門性や、地域の子ども・子育て家庭への支援に必要な要素等について、保育関係者はもとより、行政や地域社会に広く発信する。

令和6年度事業計画は、別添をご参照ください。また、全国保育士会ホームページにも掲載する予定です。

■ 全国保育士会ホームページ

<https://www.z-hoikushikai.com/about/donna/index.html>

■ 令和5年度 都道府県・指定都市正副会長セミナーを開催

令和6年2月14日（水）～15日（木）に、「令和6年度 都道府県・指定都市保育士会正副会長セミナー」を開催しました。

本セミナーは、都道府県・指定都市保育士会の正副会長等が一堂に会し、保育に関する制度動向や全国保育士会の取り組みについて理解を深めるとともに、社会状況が様々に変化するなかにおいて求められる専門性や役割について考え、もって保育士会組織の活動等の充実強化に寄与することを目的に開催しました。

1日目は、全国保育士会 間所 あゆみ 総務部長の開会あいさつの後、村松 幹子 会長から、「全国保育士会の今後の取り組みについて」と題して、令和6年度事業の方向性等について基調報告を行いました。これに続き、行政説明として、こども家庭庁 成育局 保育政策課 教育・保育専門官の鎮目 健太氏より、「保育をめぐる国の動向と課題」についてご説明いただきました。



間所総務部長によるあいさつ

昨今、保育を取り巻く制度は目まぐるしく変化しており、保育現場にとっては分かりづらい部分が生じている側面もあります。このことから、行政説明の後には参加者同士による意見交換を実施しました。参加者からは、保育所・認定こども園による地域の子ども・子育て

支援等に関する思いが共有され、その内容も踏まえながら講義Ⅰが実施されました。

講義Ⅰでは、「今後の保育に向けて、保育士等が意識すべきことを考える」と題し、玉川大学 教授 大豆生田 啓友 氏から「はじめの100か月の育ちビジョン」（幼児期までの育ちのビジョン）をはじめ、今後の保育に向けて保育者が意識すべきことについて講義をいただきました。また、講義の終盤では、意見交換会で出た疑問等に大豆生田氏よりご回答いただきました。学生の人材育成や保育士の人権等の質問に、実践的かつ専門的な観点からお答えいただき、理解を深めることができました。



講義Ⅰ 大豆生田 啓友 氏

2日目は、十文字学園女子大学 教授 潮谷 恵美 氏から、「保育士・保育教諭等が発揮する地域の子ども・子育て家庭支援の役割」と題して、ソーシャルワークの基礎的な知識等についてご説明いただいた後、グループワークを実施しました。

グループワークでは、「園にかかわりのある社会資源」をテーマにそれぞれエコマップを作成し、グループ内にて共有を行いました。ソーシャルネットワーク活用の重要性について改めて学ぶことができました。

子ども・子育て家庭への意図的なかかわりは専門性が要求され、専門的な視点や実践から得た学びを園や地域でどう生かしていくかが保育士に問われていると結ばれました。



グループワークの様子



講義Ⅱ 潮谷 恵美 氏

【プログラム】

1日目（2月14日（水））

時間	内容
13:00～13:15	【開会あいさつ】 【「全国保育士会倫理綱領」「食育推進ビジョン」唱和】 【「私たちがいるんです」斉唱】
13:15～14:00	【基調報告】 「全国保育士会の今後の取り組みについて」 全国保育士会 会長 村松 幹子

14:15~15:00	【行政説明】 「保育をめぐる国の動向と課題」 こども家庭庁 成育局 保育政策課 教育・保育専門官 鎮目 健太 氏
15:00~15:45	【意見交換】
16:00~17:30	【講義Ⅰ】 「今後の保育に向けて、保育士等が意識すべきことを考える」 講師：大豆生田 啓友 氏（玉川大学 教授）

2日目（2月15日（木））

時 間	内 容
9:00~12:00	【講義Ⅱ】 「保育士・保育教諭等が発揮する地域の子ども・子育て家庭支援の役割」 講師：潮谷 恵美 氏（十文字学園女子大学 教授）
12:00~12:15	【まとめ・閉会あいさつ】